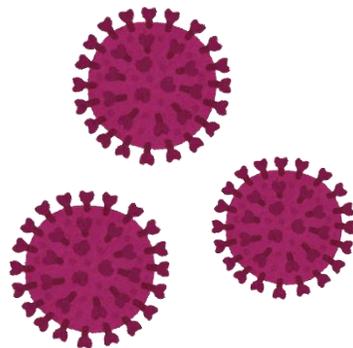


第44回奈良市新型コロナウイルス対策本部会議

(特措法に基づかない市独自の対策本部会議の44回目、合計で70回目)

新型コロナウイルスの感染状況 及び本市の対応



令和4年5月25日(水)
奈良市新型コロナウイルス対策本部

全国などの感染の状況（概要）

海外

- ・ E U航空当局、空港や飛行機内でのマスク着用義務を5月16日(月)で解除
- ・ 5月18日(水)、米国CDCは東部や中西部の人口が多い地域では**感染拡大が深刻**となり**マスクの着用が推奨される水準に達している**という認識を示した。

全国

沖縄など特定の地域を除き、全国的に「感染急増」とはなることなく、3年ぶりに行動制限がなかったゴールデンウィーク(GW)を乗り越えられたものと認識 → 次頁の「GW前後における人口10万人あたりの新規陽性者数」

- ・ 5月12日(木)、厚労省は、国内検疫で**初めてBA.4とBA.5の感染を確認**したと発表
- ・ 5月24日(火)、東京都は**BA.5の感染確認を公表、検疫を除く国内初**
- ・ 5月20日(金)、政府が、1日あたり1万人としている現在の**入国者の上限**を、6月1日から**2万人に拡大**し、空港検疫の体制も緩和すると発表
- ・ 5月23日(月)、政府の基本的対処方針で**マスク着用の考え方を修正** → 次々頁
- ・ 5月24日(火)、文科省が、学校でのマスク着用の考え方についての事務連絡を発出

東京都

- ・ 5月22日(日)をもって、「**リバウンド警戒期間**」を**終了**。確保病床7,216床→5,000床

大阪府

- ・ 5月18日(水)、**3つ警戒信号を「黄」から「緑」に引き下げる**ことを決定(23日(月)から)

奈良県

- ・ 5月19日(木)、県医師会長が会見で「十分な距離が取れていれば屋外でマスク不要」

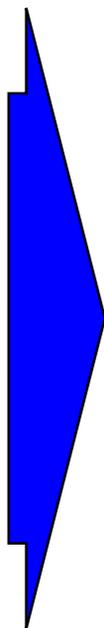
GW前後における人口10万人当たりの新規陽性者数

GW前 (4月22日(金))

順位	都道府県	直近1週間の新規陽性者数/10万人
①	沖 縄	644.3人
②	佐 賀	416.7人
③	北海道	333.8人
④	宮 崎	326.4人
⑤	鹿児島	309.1人
⑥	福 岡	297.1人
⑦	東 京	284.5人
⑧	香 川	256.1人
⑨	広 島	243.4人
⑩	大 阪	242.9人
⑬	福 井	178.0人
⑭	石 川	168.7人
⑮	奈 良	167.6人
—	全 国	229.9人
—	奈良市	136.3人

GW後 (5月24日(火))

順位	都道府県	直近1週間の新規陽性者数/10万人	増減
			↘ : 減少 ↗ : 増加
①	沖 縄	931.3人	44.5%↗
②	宮 崎	297.7人	8.8%↘
③	北海道	290.6人	12.9%↘
④	石 川	288.7人	71.1%↗
⑤	広 島	279.7人	14.9%↗
⑥	鹿児島	275.5人	10.9%↘
⑦	福 井	262.9人	47.7%↗
⑧	福 岡	258.8人	12.9%↘
⑨	熊 本	243.2人	—
⑩	香 川	235.1人	8.2%↘
⑬	大 阪	219.2人	9.8%↘
⑭	東 京	172.1人	39.5%↘
⑮	奈 良	136.4人	18.6%↘
—	全 国	188.2人	18.1%↘
—	奈良市	132.4人	2.9%↘



政府の基本的対処方針で示されたマスク着用の考え方(5/23(月))

・ 屋内において、他者と身体的距離（2 m 以上を目安）がとれない場合、他者と距離がとれるが会話を行う場合、屋外において他者と距離がとれず会話を行う場合は、マスクの着用を推奨する。また、高齢者等との面会時や病院内など、重症化リスクの高い者と接する場合にはマスクの着用を推奨する。マスクは不織布マスクを推奨する。なお、屋内において他者と身体的距離がとれて会話をほとんど行わない場合は、マスク着用は必要ない。

・ 屋外において、他者と身体的距離が確保できる場合、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要なく、特に夏場については、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨する。

・ また、乳幼児(小学校に上がる前の年齢)のマスクの着用には注意が必要であり、特に2歳未満では推奨されない。2歳以上の就学前の子どもについても、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には推奨しない。なお、本人の体調がすぐれず持続的なマスクの着用が難しい場合は、無理に着用する必要はなく、マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用すること。

学校生活の中でマスク着用について

- ・「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等を踏まえた対応を基本としつつ、**身体的距離が十分に確保できないときは**、児童生徒に**マスクの着用**を指導する。
- ・その上で、地域の実情に応じつつ、**十分な身体的距離が確保できる場合**や**体育の授業ではマスクの着用は必要ない**こと、気温・湿度や暑さ指数が高い夏場においては**熱中症対策を優先**し、**マスクを外すこと**等を指導する。
- ・加えて、運動部活動でのマスクの着用については、体育の授業における取扱いに準じつつ、接触を伴うものをはじめ活動の実施に当たっては、各競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応するとともに、練習場所や更衣室等、食事や集団での移動に当たっては、マスクの着用を含めた感染対策を徹底する。

厚労省が示したマスク着用の考え方など(5/20(金))

- ▶ **基本的な感染対策としてのマスク着用の位置づけは変更しない**
- ▶ **身体的距離が確保できないが、会話をほとんど行わない場合のマスク着用の考え方を明確化**
- ▶ **就学前の児童（2歳以上）のマスク着用について、オミクロン株対策以前の取扱いに戻す**

1. マスク着用の考え方

	身体的距離(※)が確保できる ※2m以上を目安		身体的距離が確保できない	
	屋内(注)	屋外	屋内(注)	屋外
会話を行う	着用を推奨する (十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可)	着用する必要はない 事例①	着用を推奨する	着用を推奨する
会話をほとんど行わない	着用する必要はない	着用する必要はない	着用を推奨する 事例③	着用する必要はない 事例②

(注) 外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など

※夏場については、熱中症防止の観点から、屋外の「着用する必要はない」場面で、マスクを外すことを推奨。

※お年寄りやと会う時や病院に行く時などハイリスク者と接する場合にはマスクを着用する。

事例①

- ・ランニングなど離れて行う運動
- ・鬼ごっこなど密にならない外遊び

事例②

- ・徒歩での通勤など、屋外で人とすれ違うような場合

事例③

- ・通勤電車の中

2. 小学校就学前の児童のマスク着用について

- **2歳未満(乳幼児)**は、引き続き、**マスク着用は奨めない**。
- **2歳以上**は、以下のとおり、オミクロン株対策以前の新型コロナウイルス対策の取扱いに戻す。

「保育所等では、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、**マスク着用を一律には求めない**。なお、施設内に感染者が生じている場合などにおいて、施設管理者等の判断により、可能な範囲で、マスクの着用を求めることは考えられる」

(注) 2歳以上については、本年2月の基本的対処方針の改訂時に、オミクロン株の特徴を踏まえた対応とし「保育所等では、発育状況等からマスクの着用が無理なく可能と判断される児童については、**可能な範囲で、一時的に、マスク着用を奨める**」としていた。

(厚生労働省からの事務連絡「マスクの着用の考え方及び就学前児の取扱いについて」(令和4年5月20日) から引用)

学校生活におけるマスク着用について(5/23(月)、文科省)

熱中症対策を命に関わる重大な問題として捉え、「衛生管理マニュアル」で示しているマスク着用が不要な場面をより具体的に示し、改めて周知

学校生活の中でマスク着用が不要な場面の例

- ◇ **屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含めた、体育の授業や運動部活動等においてはマスクの着用は不要**であることに加え、その具体的な場面への適用に関して、以下もあわせて周知
 - ・ 運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各々の競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応
 - ・ 練習場所や更衣室等、食事や集団での移動に当たっては、その状況に対応して、マスク着用を含めた感染対策を徹底
- ◇ 熱中症リスクが高い夏場においては、**登下校時に**、会話を控えるよう注意した上で**マスクを外すよう指導**
- ※ 幼稚園においては、2歳以上の小学校就学前の幼児には、マスク着用を一律には求めず、無理に着用させないという方針を踏まえ対応

全国及び東京都における新規陽性者数の推移

NHK「新型コロナウイルス特設サイト」から引用



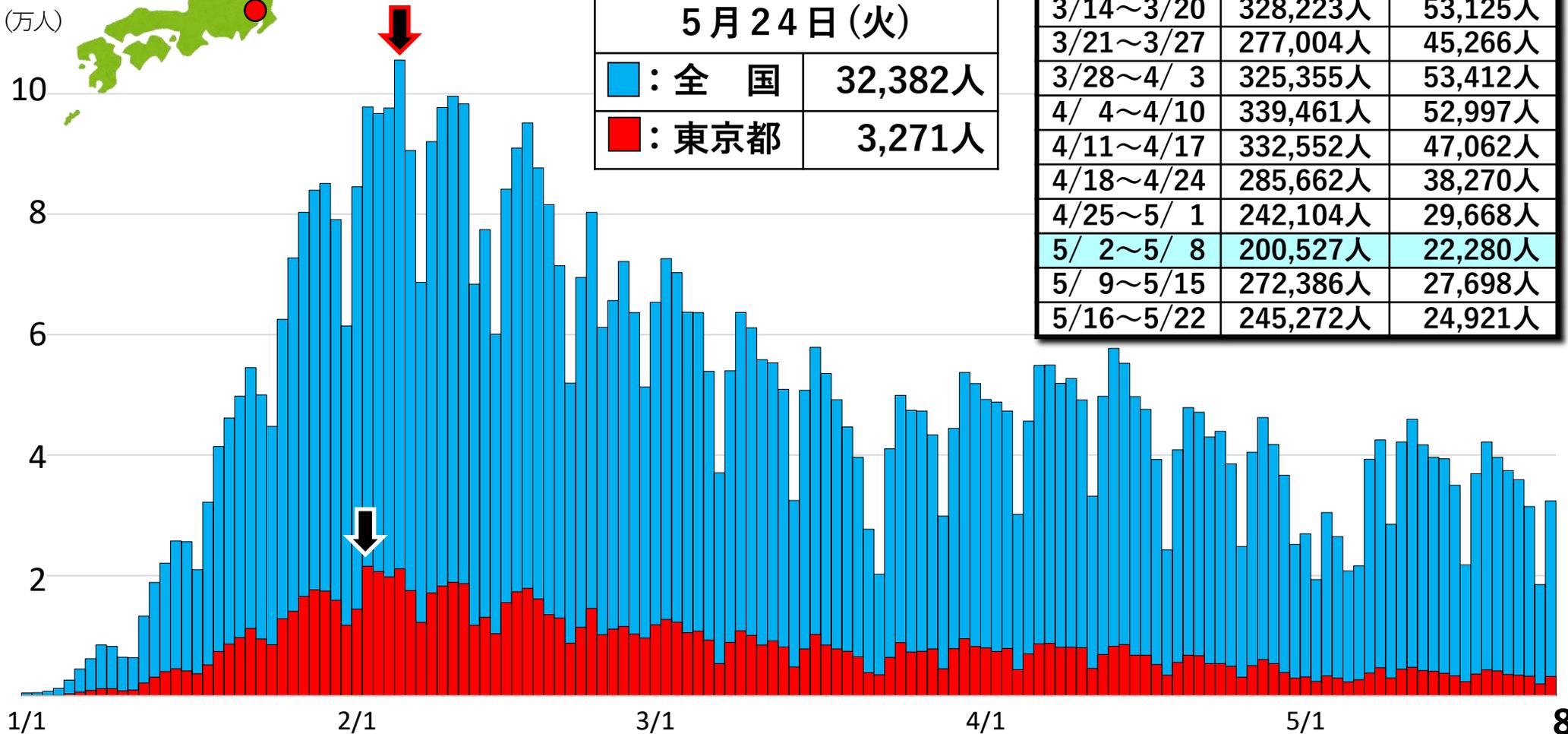
第6波のピーク時

全 国	105,611人 2月5日(土)
東京都	21,576人 2月2日(水)

5月24日(火)

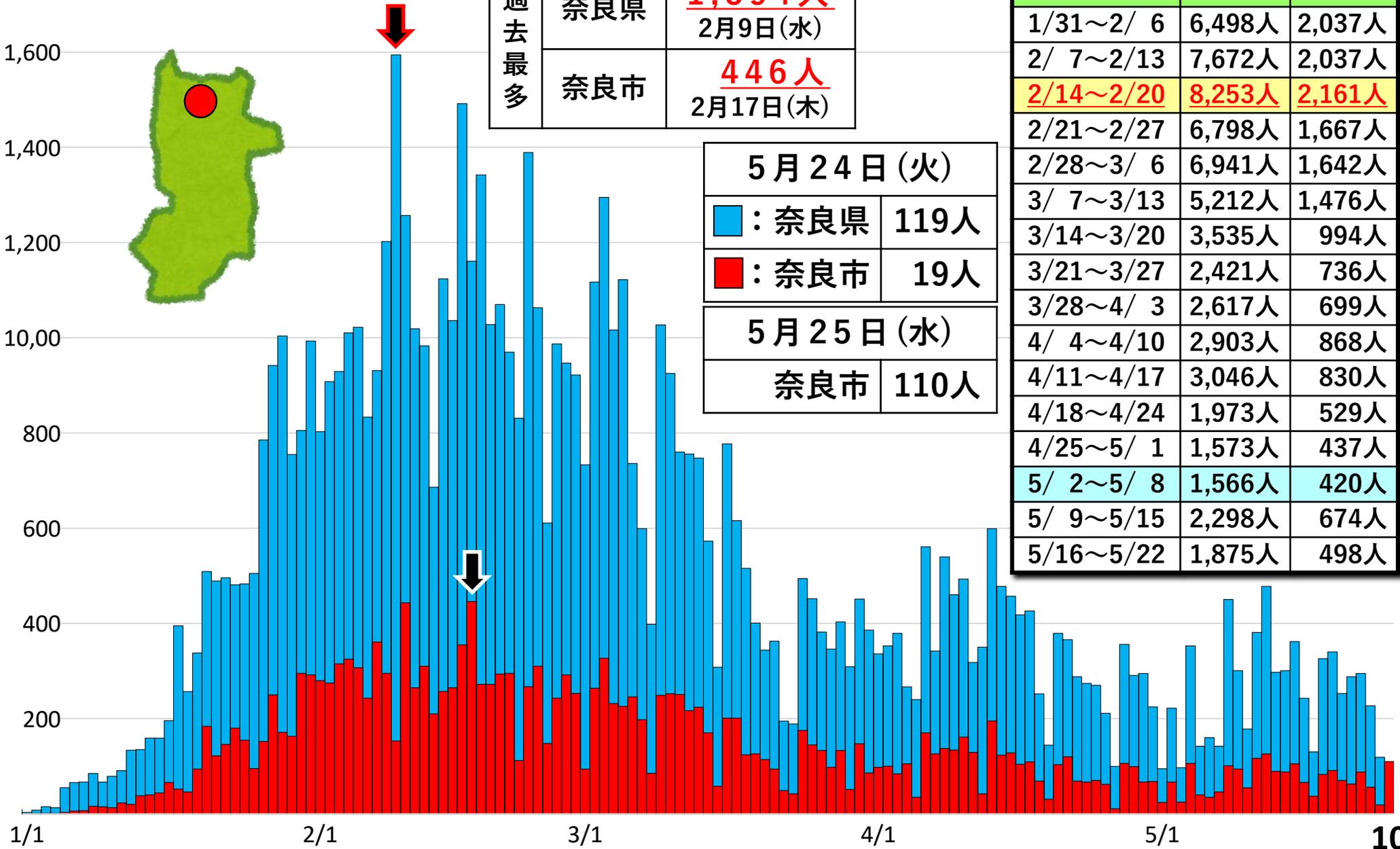
■ : 全 国	32,382人
■ : 東京都	3,271人

週単位	全 国	東京都
1/31~2/ 6	634,373人	126,897人
2/ 7~2/13	602,226人	110,001人
2/14~2/20	571,196人	103,634人
2/21~2/27	464,465人	77,992人
2/28~3/ 6	440,999人	77,001人
3/ 7~3/13	378,028人	60,961人
3/14~3/20	328,223人	53,125人
3/21~3/27	277,004人	45,266人
3/28~4/ 3	325,355人	53,412人
4/ 4~4/10	339,461人	52,997人
4/11~4/17	332,552人	47,062人
4/18~4/24	285,662人	38,270人
4/25~5/ 1	242,104人	29,668人
5/ 2~5/ 8	200,527人	22,280人
5/ 9~5/15	272,386人	27,698人
5/16~5/22	245,272人	24,921人



奈良県及び奈良市における新規陽性者数の推移

(人) NHK「新型コロナウイルス特設サイト」から引用



過去最多	奈良県	1,594人 2月9日(水)
	奈良市	446人 2月17日(木)

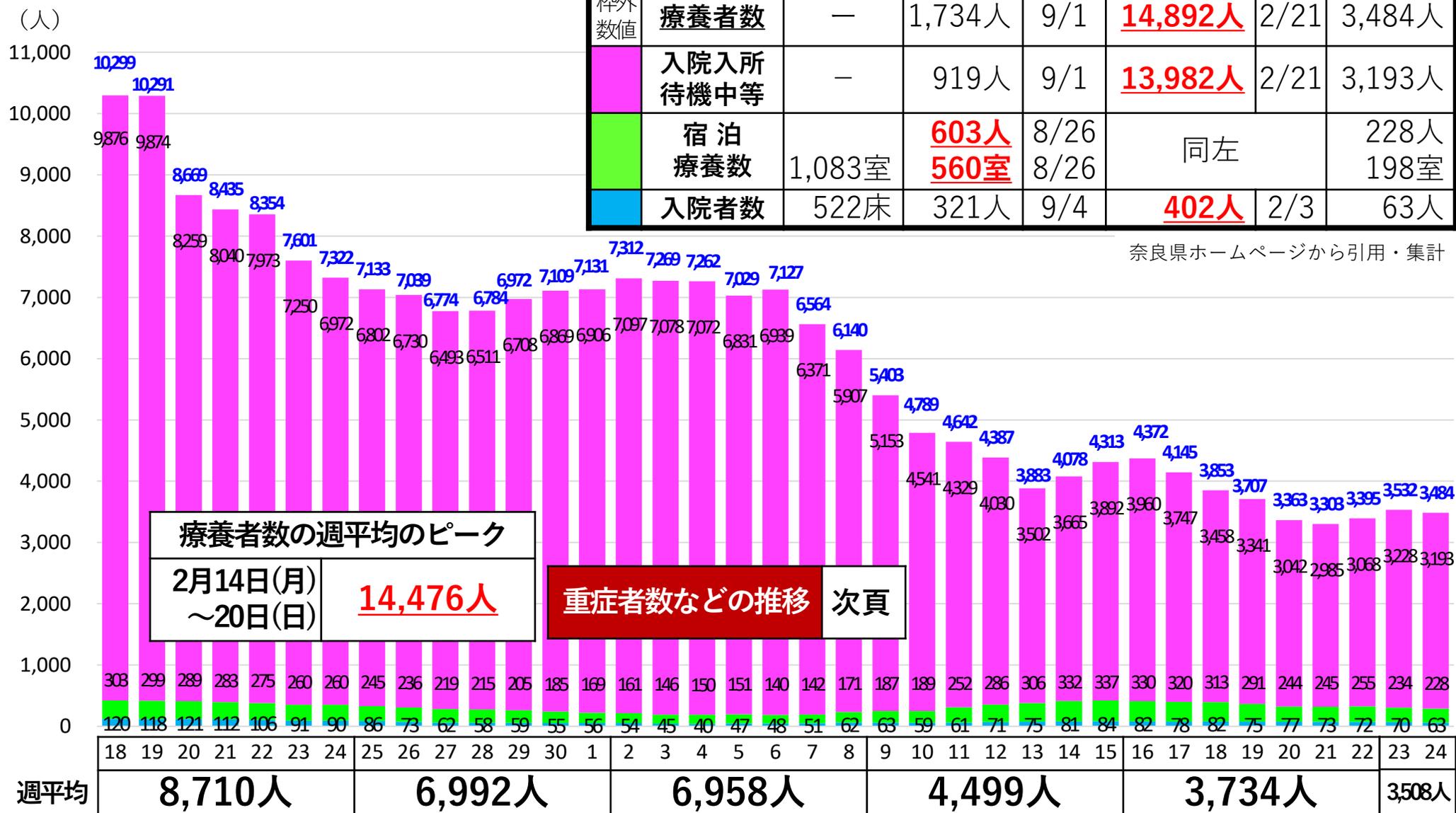
5月24日(火)	
■ : 奈良県	119人
■ : 奈良市	19人
5月25日(水)	
奈良市	110人

週単位	奈良県	奈良市
1/31~2/ 6	6,498人	2,037人
2/ 7~2/13	7,672人	2,037人
2/14~2/20	8,253人	2,161人
2/21~2/27	6,798人	1,667人
2/28~3/ 6	6,941人	1,642人
3/ 7~3/13	5,212人	1,476人
3/14~3/20	3,535人	994人
3/21~3/27	2,421人	736人
3/28~4/ 3	2,617人	699人
4/ 4~4/10	2,903人	868人
4/11~4/17	3,046人	830人
4/18~4/24	1,973人	529人
4/25~5/ 1	1,573人	437人
5/ 2~5/ 8	1,566人	420人
5/ 9~5/15	2,298人	674人
5/16~5/22	1,875人	498人

奈良県内における療養者数、入院者数等の推移

凡例	区分	確保病床	第5波のピーク時		過去最多		5月24日
枠外 数値	療養者数	—	1,734人	9/1	14,892人	2/21	3,484人
	入院入所 待機中等	—	919人	9/1	13,982人	2/21	3,193人
	宿泊 療養数	1,083室	603人 560室	8/26 8/26	同左		228人 198室
	入院者数	522床	321人	9/4	402人	2/3	63人

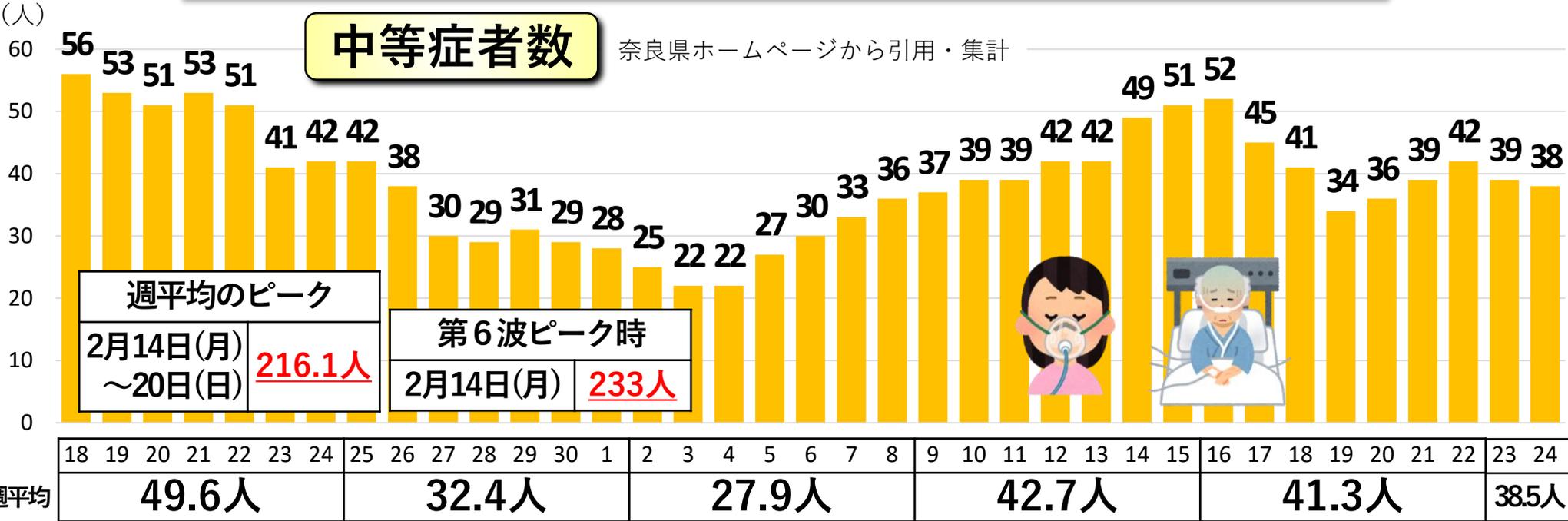
奈良県ホームページから引用・集計



奈良県内における中等症者数及び重症者数の推移

中等症者数

奈良県ホームページから引用・集計

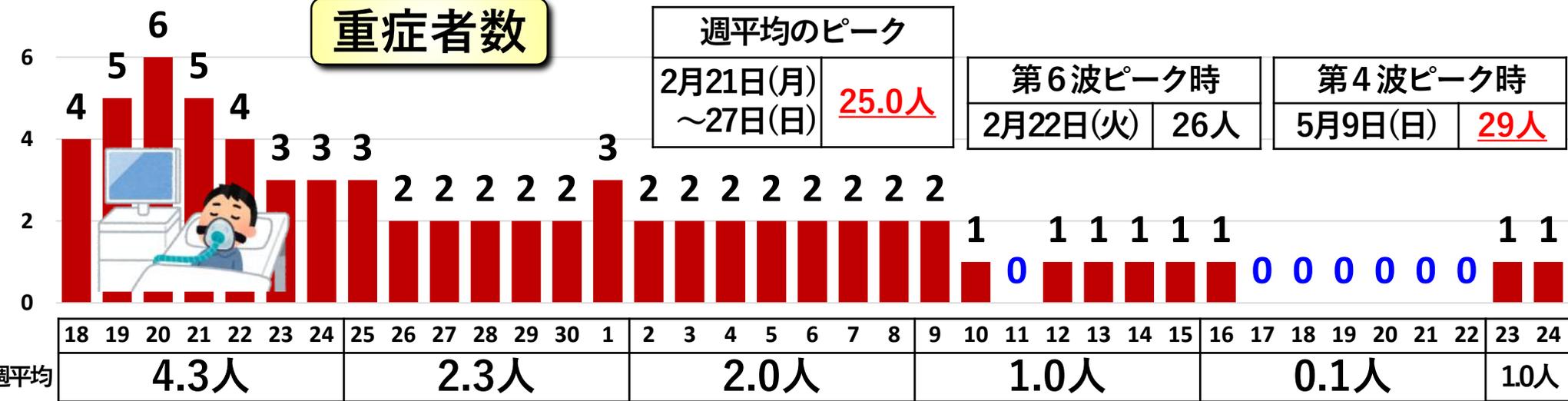


重症者数

週平均のピーク
2月21日(月) ~ 27日(日) **25.0人**

第6波ピーク時
2月22日(火) 26人

第4波ピーク時
5月9日(日) **29人**



市内医療機関におけるコロナ病床の占有率の状況

(%)

	確保病床数	5月													
		11日 (水)	12日 (木)	13日 (金)	14日 (土)	15日 (日)	16日 (月)	17日 (火)	18日 (水)	19日 (木)	20日 (金)	21日 (土)	22日 (日)	23日 (月)	24日 (火)
県全体	522床	11.7	13.7	14.4	15.6	16.2	15.8	15.0	15.8	14.4	14.8	14.0	13.8	13.4	12.1
本市全体	157床	6.4	7.0	7.0	8.3	7.6	8.3	9.6	10.2	8.9	9.6	8.9	8.9	8.9	8.9
県総合医療センター	74床	4	5	5	7	5	7	7	8	8	9	8	8	8	8
市立奈良病院	34床	18	18	18	21	21	21	24	24	18	18	18	18	18	18
国立病院機構奈良医療センター	34床	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉田病院	8床	0	0	0	0	0	0	13	13	13	13	13	13	13	13
済生会奈良病院	7床	0	0	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14

※確保病床数については最新の数値
 ※奈良県ホームページから引用



凡例

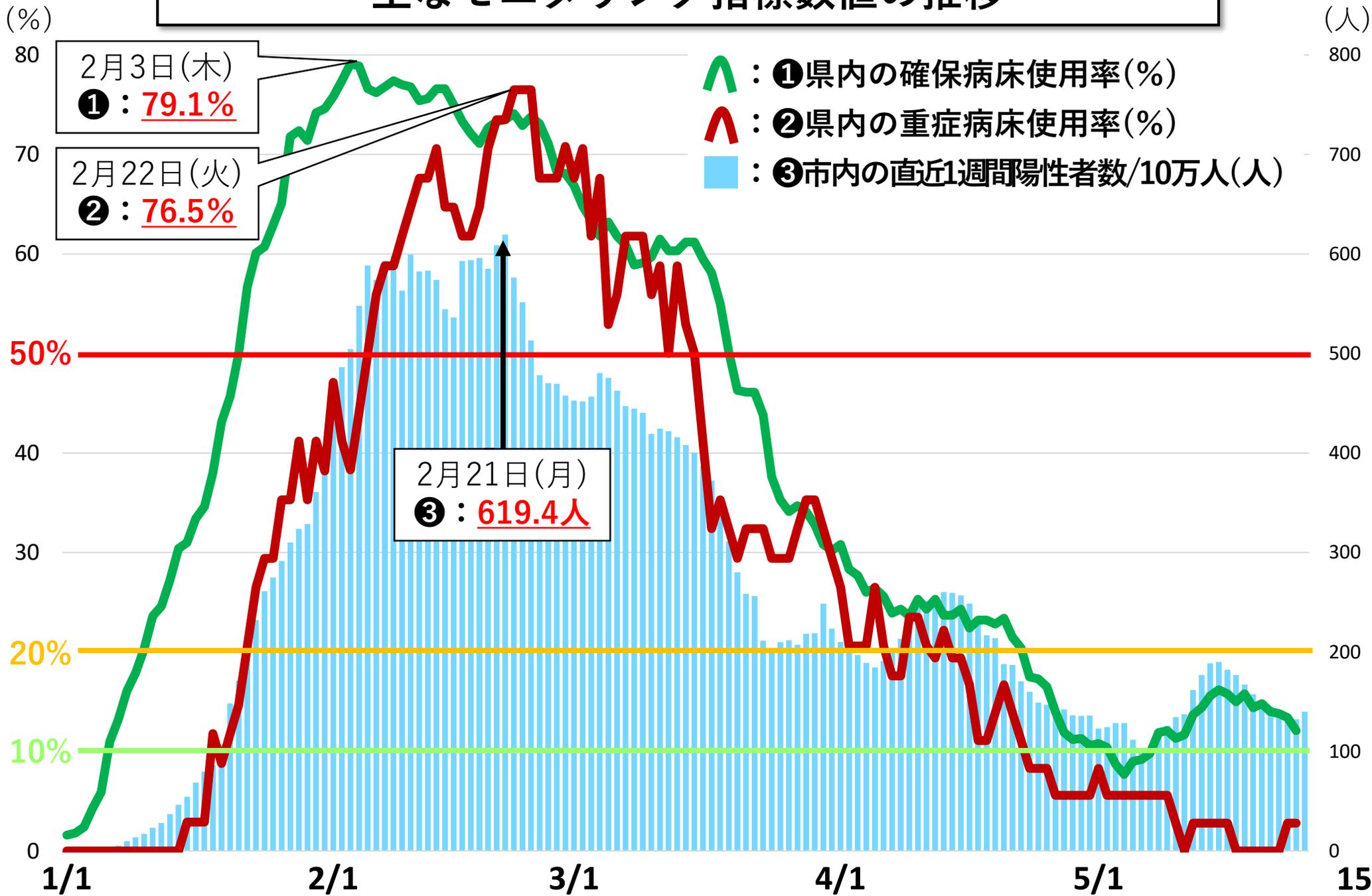
10%未満	:	緑色
10%以上	:	黄色
20%以上	:	橙色
50%以上	:	赤色
100%	:	茶色

13

本市におけるモニタリング結果

指 標	過去 最多	5 月														黄へ	橙へ	赤へ	
		12日 (木)	13日 (金)	14日 (土)	15日 (日)	16日 (月)	17日 (火)	18日 (水)	19日 (木)	20日 (金)	21日 (土)	22日 (日)	23日 (月)	24日 (火)	25日 (水)				
県内の医療体制等の負荷	①県内の 確保病床 使用率	R4.23 79.1%	13.7 %	14.4 %	15.6 %	16.2 %	15.8 %	15.0 %	15.8 %	14.4 %	14.8 %	14.0 %	13.8 %	13.4 %	12.1 %	25日夕に発表	10% 以上	20% 以上	50% 以上
	②県内の 重症病床 使用率	R3.5.9 90.6%	2.8 %	2.8 %	2.8 %	2.8 %	2.8 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	2.8 %	2.8 %		10% 以上	20% 以上	50% 以上
市内感染状況	③市内の 直近週間 陽性者数 /10万人	R4.2.21 619.4人	161.7 人	176.9 人	188.7 人	189.9 人	182.0 人	176.9 人	167.3 人	157.5 人	152.1 人	145.1 人	140.3 人	137.5 人	132.4 人	140.0 人	5人 以上	15人 以上	25人 以上
	市内直近1週間の 新規陽性者数	R4.2.21 2,199人	574 人	628 人	670 人	674 人	646 人	628 人	594 人	559 人	540 人	515 人	498 人	488 人	470 人	497 人	/		

主なモニタリング指標数値の推移

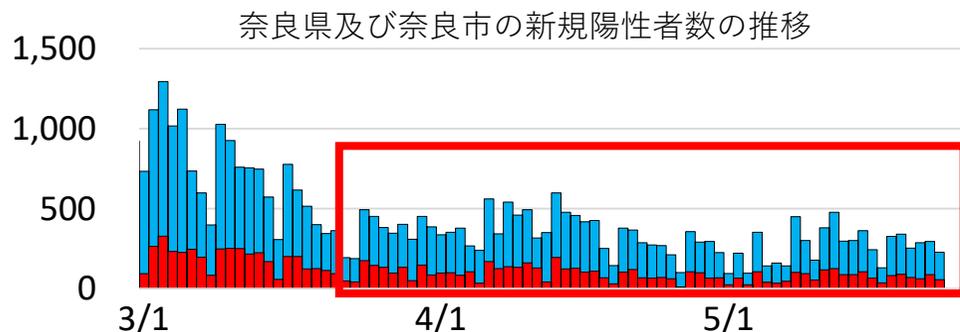


本市の対処方針

「市民お一人おひとりの自覚ある行動により、心配された『医療提供体制への大きな負担となるような**感染急増**』には至ることなく**ゴールデンウィークを乗り越えられた**」と考えています。（➡※）

引き続き、重症化リスクを抑えるためのカギを握る「**ワクチン接種**」、特に**4回目接種を推進**していくとともに、「**熱中症と感染対策の両立**」に向けた市民啓発などを継続して、感染の再拡大防止と社会経済活動との両立を目指します。

※3月22日(火)より発出していた「**リバウンド注意報**」は、**5月25日(水)**をもって一旦終了します。



4 回目ワクチン接種

国において、本日5月25日より4回目接種を開始することとしております。

本市でも3回目接種と並行して、接種対象となる住民の方への4回目接種を実施します。

対象者：① 60歳以上の方

② 18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方

接種間隔：3回目接種から5か月以上経過 ※3回目接種についても2回目接種から5か月以上経過に前倒し

	個別接種	集団接種
接種場所	奈良市各医療機関 市HP掲載の接種実施医療機関一覧をご覧ください	奈良市役所正庁 (中央棟6階)
使用ワクチン	ファイザー社 及び 武田/モデルナ社	武田/モデルナ社
予約開始時期	医療機関直接予約の場合は 6月上旬 (4回目接種券が手元に届き次第)	市web予約 ワクチン接種コールセンター 6月24日 (金)
	市web予約、ワクチン接種コールセンターで予約の場合は 6月10日 (金)	
接種開始時期	医療機関直接予約の場合は 6月17日 (金)	7月1日 (金) ~ 8月6日 (土) 木、金、土曜日 (7/30除く) の 午前と午後の2枠
	市web予約、ワクチン接種コールセンターで予約の場合は 6月24日 (金)	

上記の他、**施設入所者等を対象とした巡回施設内接種を実施**及び、特に配慮が必要な方を対象に8月下旬頃に特別接種会場を設置

4 回目接種 接種券の発送

- 3 回目接種から原則 5 か月経過する前の対象者に接種券を **5月27日（金）** 以降順次発送
- 発送されなかった対象者は申し出により接種券の発行申請を受付（接種可否は医師の判断）
 - 申請はe古都なら、又は奈良市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンターへ

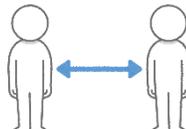
[3 回目接種完了時期]	発送時期 (令和 4 年)	4 回目接種券発送数				[参考] 3 回目接種券 発送予定数 ※ 3
		合計	60歳以上	基礎疾患 ※ 1	障害者手帳 ※ 2	
～令和 4 年 1 月 15 日	5月27日	685	650	5	30	1,210
令和 4 年 1 月 16 日～31 日	6月 2 週目	1,725	1,680	5	40	30
令和 4 年 2 月 1 日～7 日	6月 4 週目	17,595	17,550	5	40	310
令和 4 年 2 月 8 日～14 日	6月 5 週目	20,305	20,260	5	40	220
令和 4 年 2 月 15 日～21 日	7月 2 週目	16,910	16,790	30	90	210
令和 4 年 2 月 22 日～28 日	7月 3 週目	18,290	17,730	220	340	510
令和 4 年 3 月 1 日～7 日	7月 4 週目	13,370	12,500	400	470	60
令和 4 年 3 月 8 日～15 日	8月 1 週目	12,230	11,040	520	670	260
令和 4 年 3 月 16 日～31 日	8月 2 週目	12,460	11,000	370	1,090	320
令和 4 年 4 月 1 日～15 日	8月 4 週目	4,690	4,080	160	450	500
令和 4 年 4 月 16 日～30 日	9月 2 週目	2,470	2,140	90	240	270
合計		120,730	115,420	1,810	3,500	3,900

※ 1 60歳未満で初回接種（1 回目、2 回目接種）の申込に際して基礎疾患があり優先接種の対象であると申し出された方

※ 2 精神障害者保健福祉手帳、療育手帳を所持する方

※ 3 発送予定数は 5 か月以上経過した方の数

日常生活などにおけるマスク着用の目安

	着用は必要ない	着用を推奨
屋外	<ul style="list-style-type: none"> 身体的距離が確保できる(2m以上) (例えば、ランニングなど離れて行う運動 鬼ごっこなど密にならない外遊び) 身体的距離は確保できないが、会話をほとんど行わない (例えば、徒歩での通勤など、屋外で人とすれ違うような場面) 	<ul style="list-style-type: none"> 近い距離で会話をするような場面  人混み 鼻水や咳などの症状がある場合でやむを得ず外出
	<p>熱中症のリスクが高い夏場は、外すことを推奨</p>	
屋内 ・建物の中 ・公共交通機関 ・地下街 など	<ul style="list-style-type: none"> 身体的距離が確保でき、会話をほとんど行わない 会話を行う場合も、身体的距離が確保でき、かつ十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤電車の中 左記以外の場合は、マスク着用が基本 
その他	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者と会う時や病院に行く時などハイリスクな人と接する場合には着用 	
就学前児	<ul style="list-style-type: none"> 2歳未満(乳幼児)は、引き続き、マスク着用は奨めない 2歳以上は、他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない 	

学校・園におけるマスク着用の目安

	着用は必要ない	着用を推奨
学校	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症リスクが高い時の登下校 →ただし、十分な距離を確保し、会話を控えることなどを指導することが必要 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含めた、体育の授業や運動部活動等 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 熱中症のリスクが高い夏場は、外すことを推奨 </div>  	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の利用 練習場所や更衣室等、食事や集団での移動 左記以外の場合は、マスク着用が基本 
	<ul style="list-style-type: none"> 運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各々の競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応 	
園	<ul style="list-style-type: none"> 3歳児～5歳児クラスは、他者との身体的な距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない 外遊び 熱中症対策を要するとき（屋内、屋外ともに） 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内に感染者が生じているとき 屋内で会話をするとき 歌をうたうとき
	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児～2歳児クラスのマスクの着用は必要としない 	

小・中学校における対応

現状の対応

リバウンド注意報終了後の対応

- ・部活動の活動時間は、平日90分以内、休日2時間以内とする。

- ・部活動は、更衣時やミーティング時等での感染症対策を徹底したうえで、活動時間を、平日**2時間以内**、休日**3時間以内**とする。

- ・飛沫防止ガードを設置する。

- ・飛沫防止ガードの設置を**一旦終了**。ただし、希望する児童生徒は設置してもよい。
(原則) 給食喫食時には**机を向かい合わせにせず、黙食を徹底**する。
(設置基準)
- ・飛沫防止ガードの設置は、**感染急増期や拡大期、またそれに関連する警報等**が出された場合とする。

- ・学校行事等は、人数や時間を制限しながら実施することを可とする。

- ・学校行事等の**実施方法を変更**する。
(例) ○**体育的行事**
→屋外で実施する場合は、**土日開催、全校での実施を可**とする。
※実施にあたっての留意事項
 - ・保護者の参観は各家庭2名以内
 - ・開催時間は4時間以内
 - ・合同練習や長時間の練習が必要な種目は実施しない など
- 水泳指導**
→**実施する**。
※実施にあたっての留意事項
 - ・感染不安による見学を認める
 - ・授業中、緊急時を除き、会話を控えるよう指導する
 - ・手をつないだり、身体を支えたりするなど、児童生徒が密接する活動や、タオルやビート板などの共用を避ける
 - ・指導者は大きな声を発さず など

幼稚園・保育園・こども園における対応

現状の対応

リバウンド注意報終了後の対応

- ・給食や弁当等、食事の際には会話や対面を避け、対面になる場合や黙食が難しい場合は飛沫防止ガードを設置する。

- ・園行事は、基本的な感染対策を徹底したうえで、人数や時間を制限しながら実施する。

○参観・運動会・発表会等

- ・開催方法や人数、時間等を配慮し、参加する保護者の健康チェックや検温を実施

○遠足、園外保育

- ・原則として、公共交通機関を利用せず、借り上げバス等を利用

○プール

- ・プール内ではマスク不要
- ・手をつないだりせず、なるべく距離を取って遊ぶ。
- ・タオルやビート板などの共有を避ける。

○登降園

- ・園児数の多い園で密になる場合は、時間差での登降園をお願いする。

市の公共施設等における対応

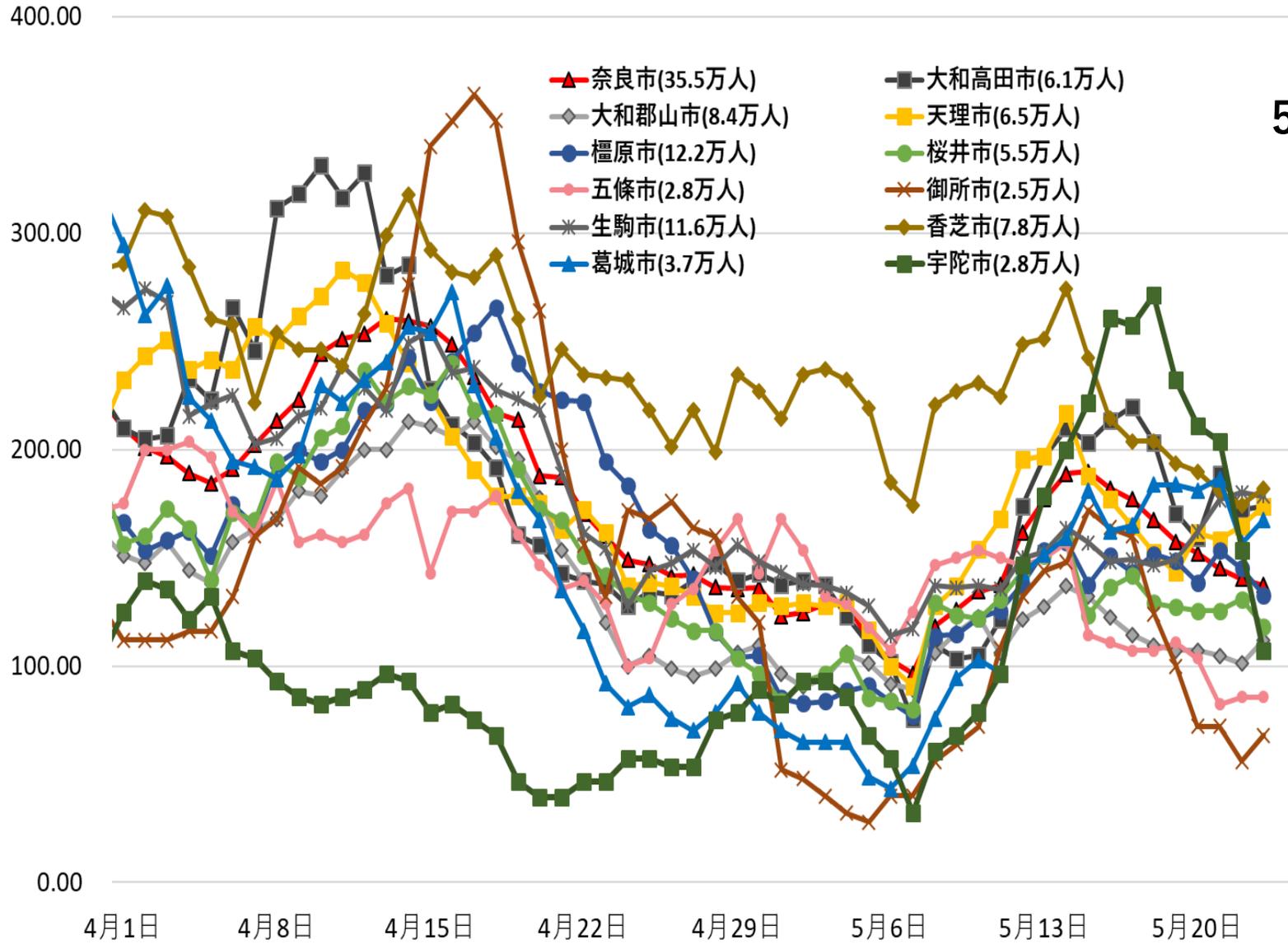
施設種別	現状の対応	リバウンド注意報終了後の対応
福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・館内飲食、浴場使用の禁止 ・カラオケ、身体接触を伴うダンス、息を吹く楽器を使用した活動の禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が利用する施設のため同左の感染対策を継続 (感染した場合の重症化リスクを考慮)
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・観客の収容人数上限を50%に制限 ・施設利用者：屋内100人以下、屋外200人以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・発声を伴う応援や観覧が想定されないイベントについては、観客の収容人数の制限を撤廃 ・発声を伴う応援や観覧が想定されるイベントについては、50%に制限を維持 ・施設利用者数の制限撤廃
文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大声での歓声が想定されるイベントは、収容人員上限を50%に制限 ・大声での歓声が想定されないイベントは、収容人員制限なし <p>※大声ありのイベント（国ガイドライン） 大声を「通常よりも大きな音量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原則左記を継続
公民館 図書館 など	<ul style="list-style-type: none"> ・発声を伴う活動やマスクを一時的に外す可能性がある活動については定員の50%以下で利用 (コーラス、カラオケ、詩吟、柔道、剣道、ダンス等) ・それ以外については定員制限なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則左記を継続

※その他、全ての市の施設で基本的な感染防止対策は継続

感染状況等のモニタリング・データ

- ・ 県内12市の直近1週間の10万人当たり新規陽性者数推移
- ・ 奈良県内のPCR検査件数及び陽性率の推移
- ・ 奈良県及び奈良市における簡易実効再生産数の推移(日々)
- ・ 市内感染者のうち自宅待機者の推移(暫定)
- ・ 市内新規陽性者(年代別)の推移(R4.1以降)
- ・ 奈良市消防局での救急搬送困難事案の推移
- ・ 市内介護サービス等事業所における感染状況
- ・ 市内障害福祉サービス事業所等における感染状況
- ・ 市内福祉施設でのクラスター発生状況
- ・ **【R4.1以降】**市立学校の児童生徒における新規陽性者数の状況(週単位)
- ・ 公私立園における新規陽性者数と園臨時休業の状況(週単位)
- ・ GWにおける車両及び人の流れ
- ・ 3回目接種についての接種券配付状況と接種率の関係

県内12市の直近1週間の10万人当たり陽性者数推移

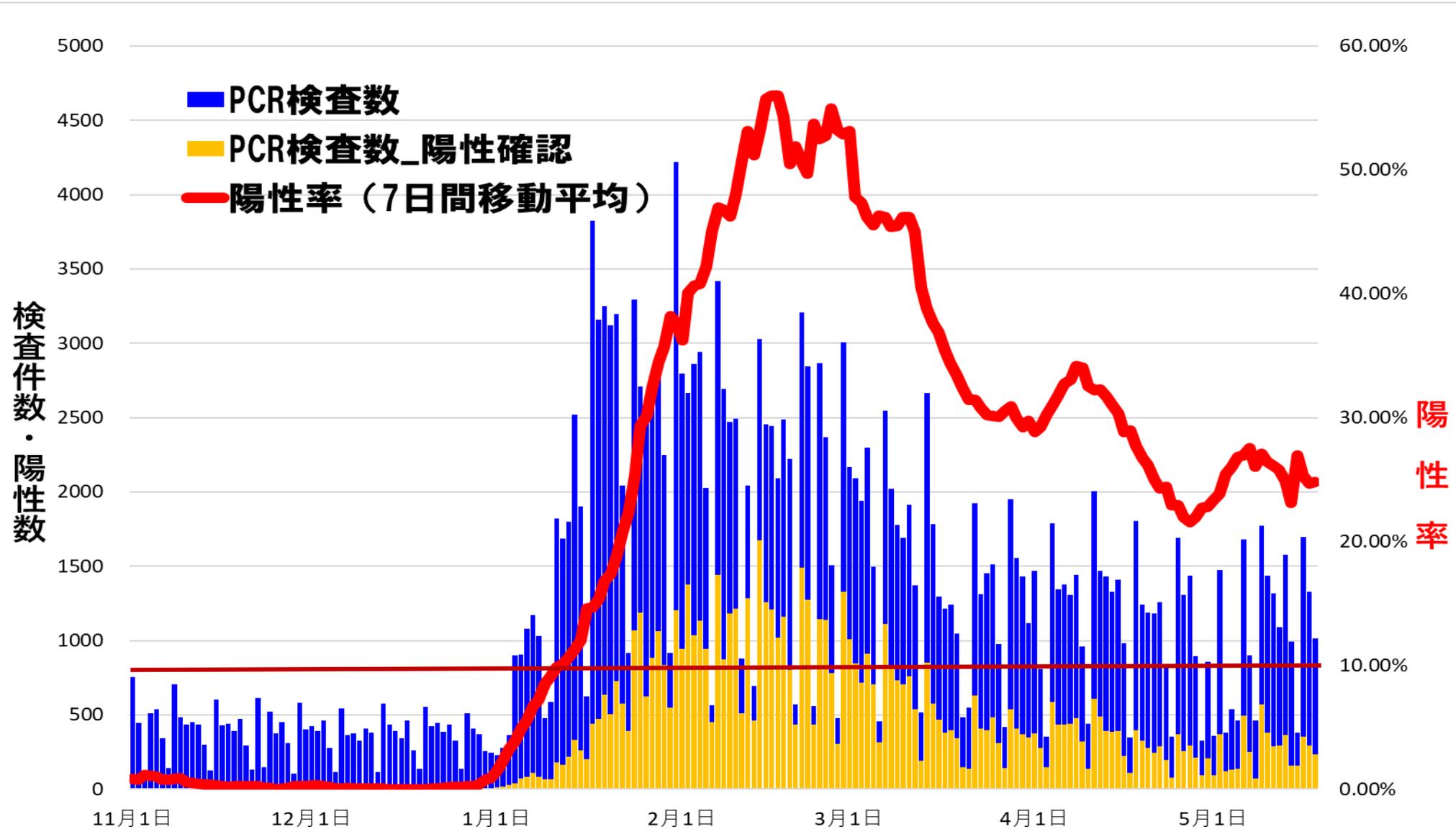


5月24日(火)時点

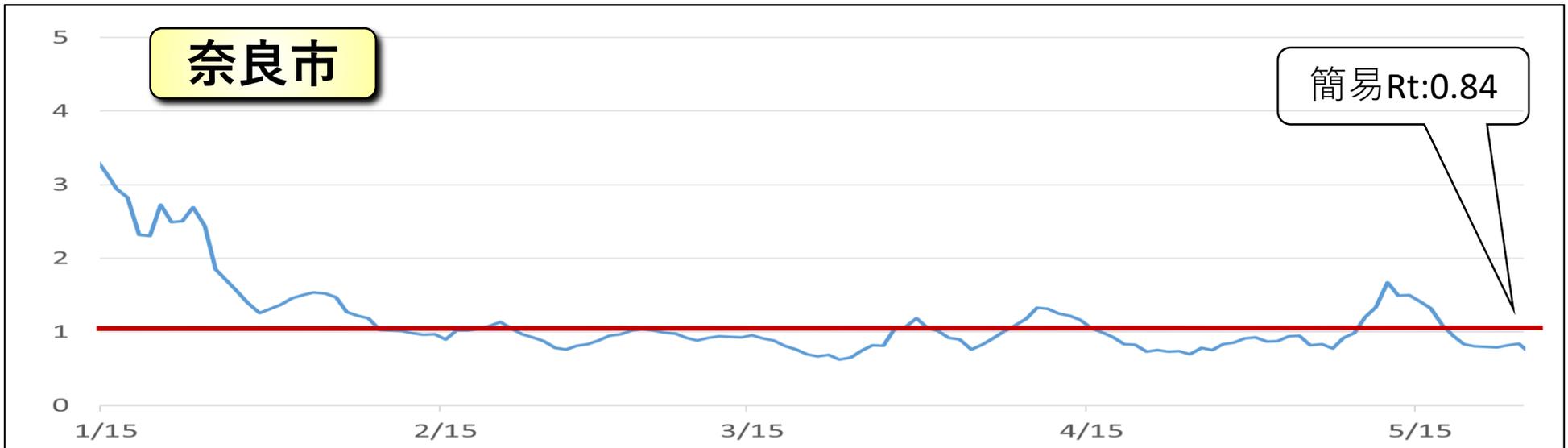
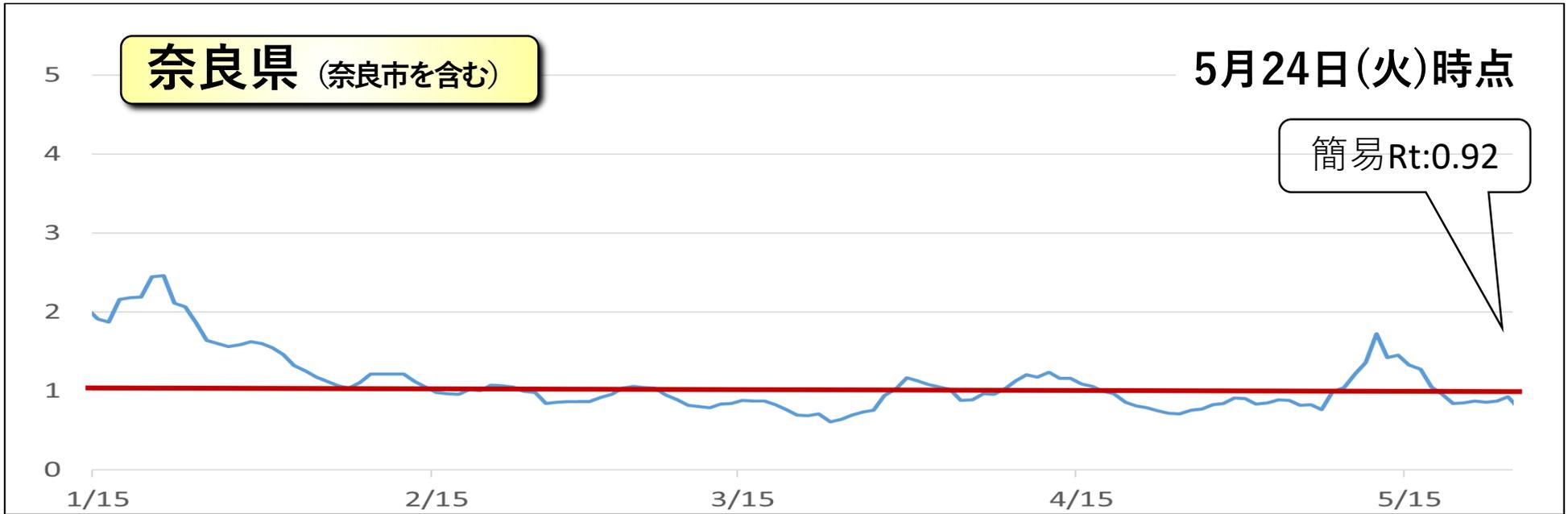
①	香芝市	192.31
②	大和高田市	180.33
③	生駒市	178.45
④	葛城市	175.68
⑤	天理市	172.31
⑥	橿原市	136.89
⑦	奈良市	132.39
⑧	桜井市	116.36
⑨	宇陀市	107.14
⑩	大和郡山市	105.95
⑪	五條市	89.29
⑫	御所市	76.00

奈良県のPCR検査件数及び陽性率の推移

※県オープンデータより



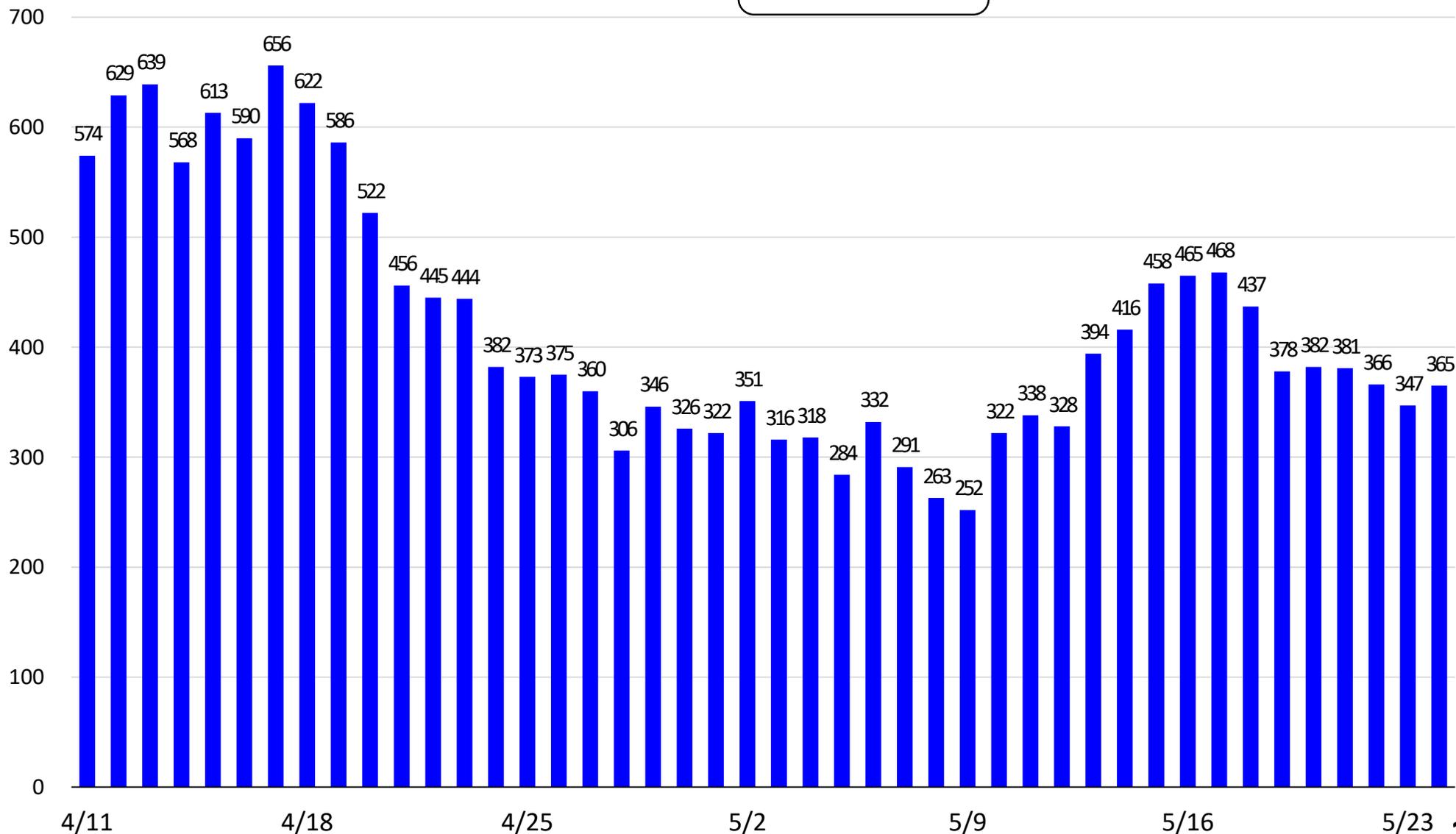
奈良県及び奈良市における簡易実効再生産数の推移(日々)



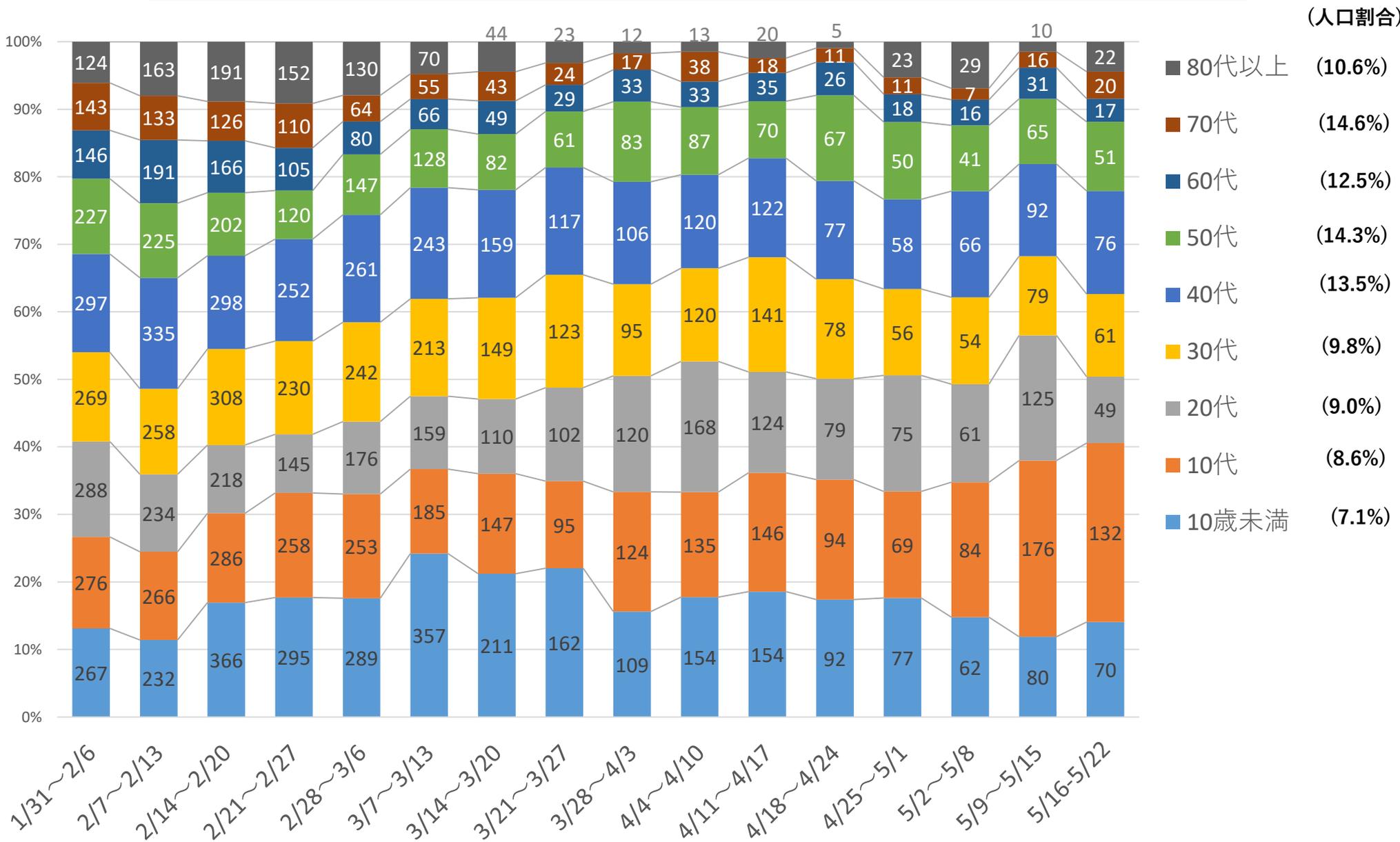
市内感染者のうち自宅待機者の推移(暫定)

「3日を超えて自宅等におられる方」の数値

2月18日(土)
1,571人(過去最多)



市内新規陽性者（年代別）の推移(R4.1以降)



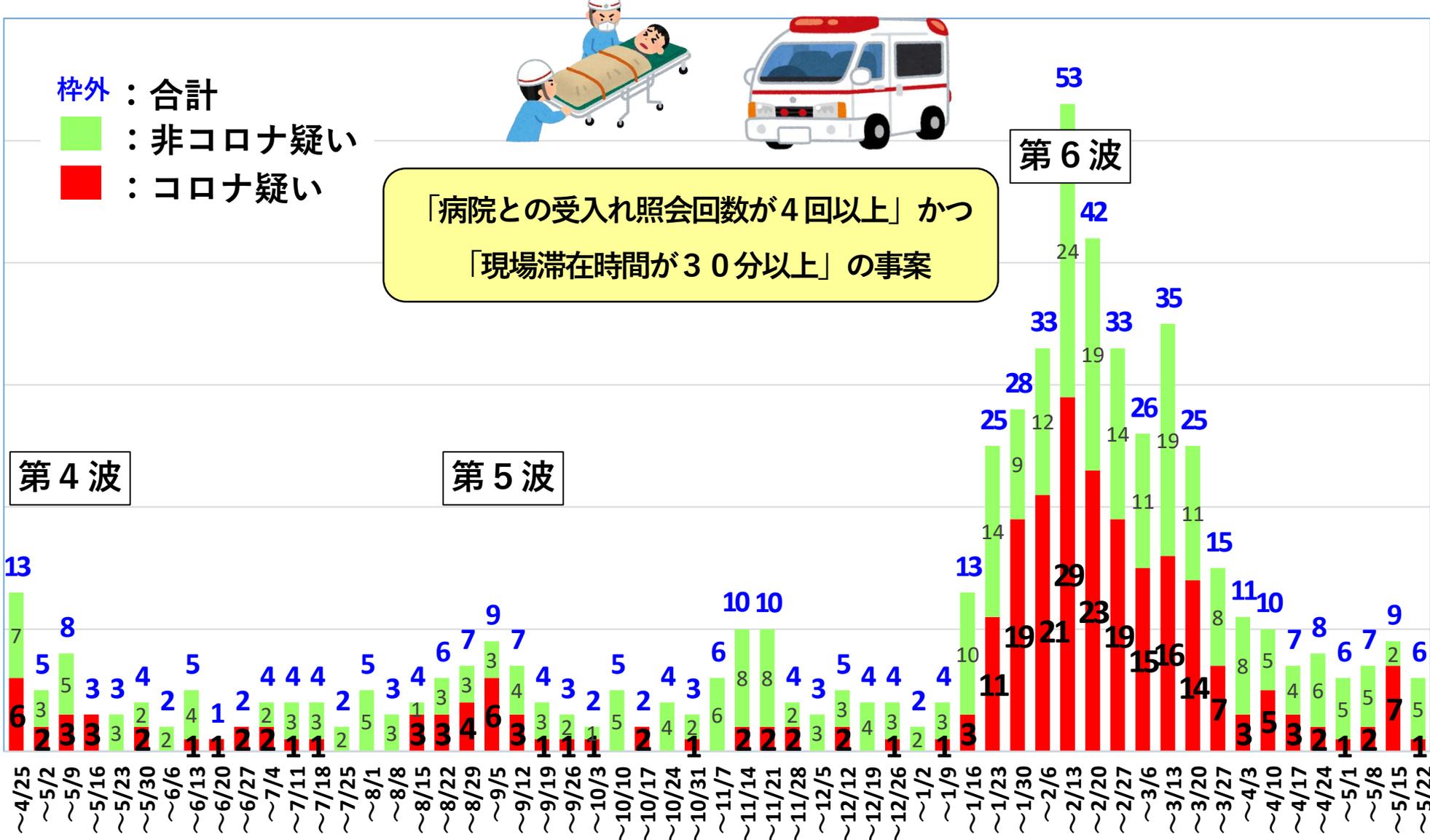
※グラフ中の数値は人数

奈良市消防局での救急搬送困難事案の推移



- 枠外 : 合計
- : 非コロナ疑い
- : コロナ疑い

「病院との受入れ照会回数が4回以上」かつ
「現場滞在時間が30分以上」の事案



市内介護サービス等事業所における感染状況

(箇所)
100

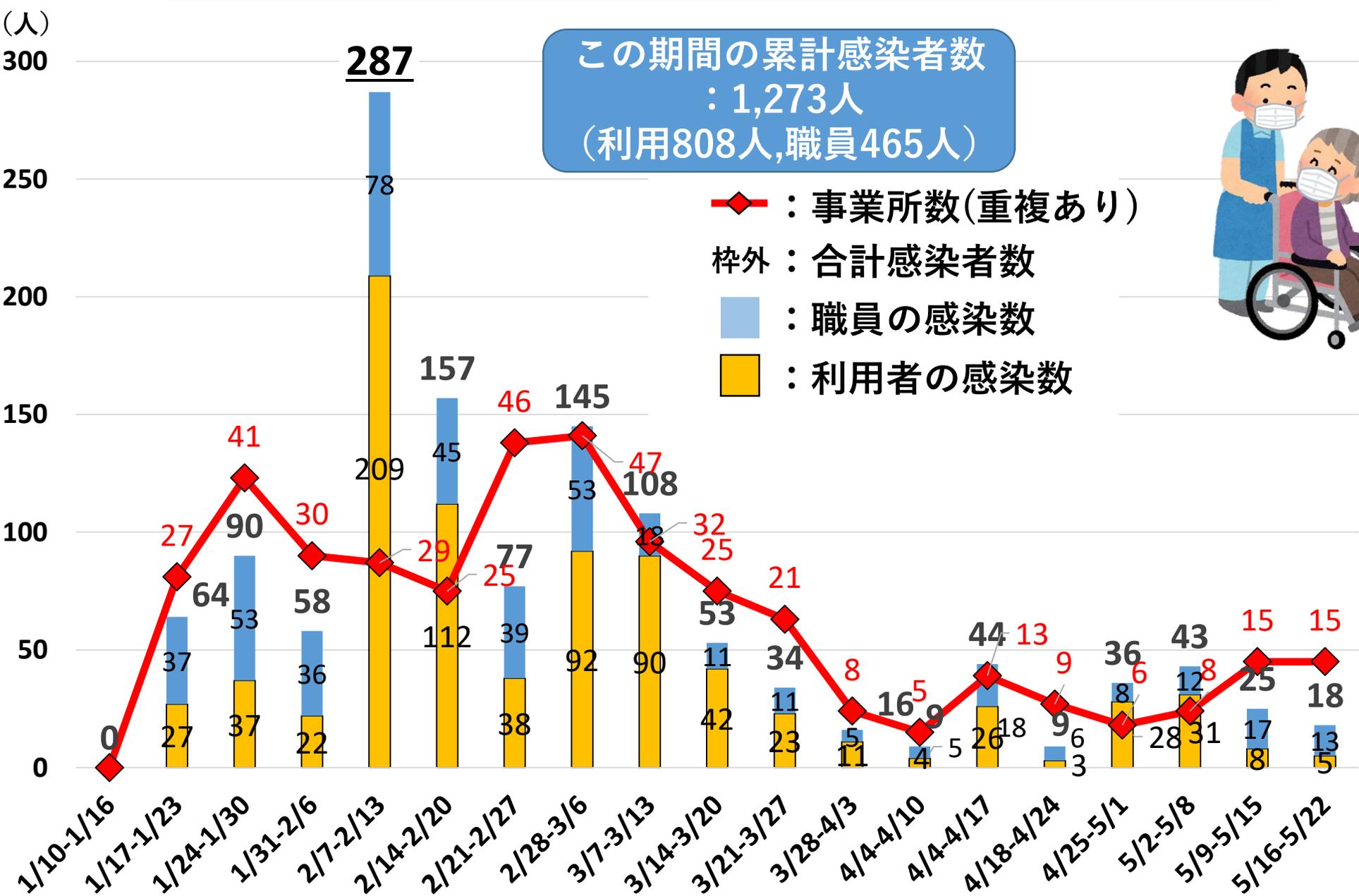


50

0

この期間の累計感染者数
: 1,273人
(利用808人,職員465人)

- ◆ : 事業所数(重複あり)
- 棒外 : 合計感染者数
- : 職員の感染数
- : 利用者の感染数



市内障害福祉サービス事業所等における感染状況

(箇所)
100

この期間の累計感染者数：474人
(利用者316人、職員158人)



(人)
150

100

50

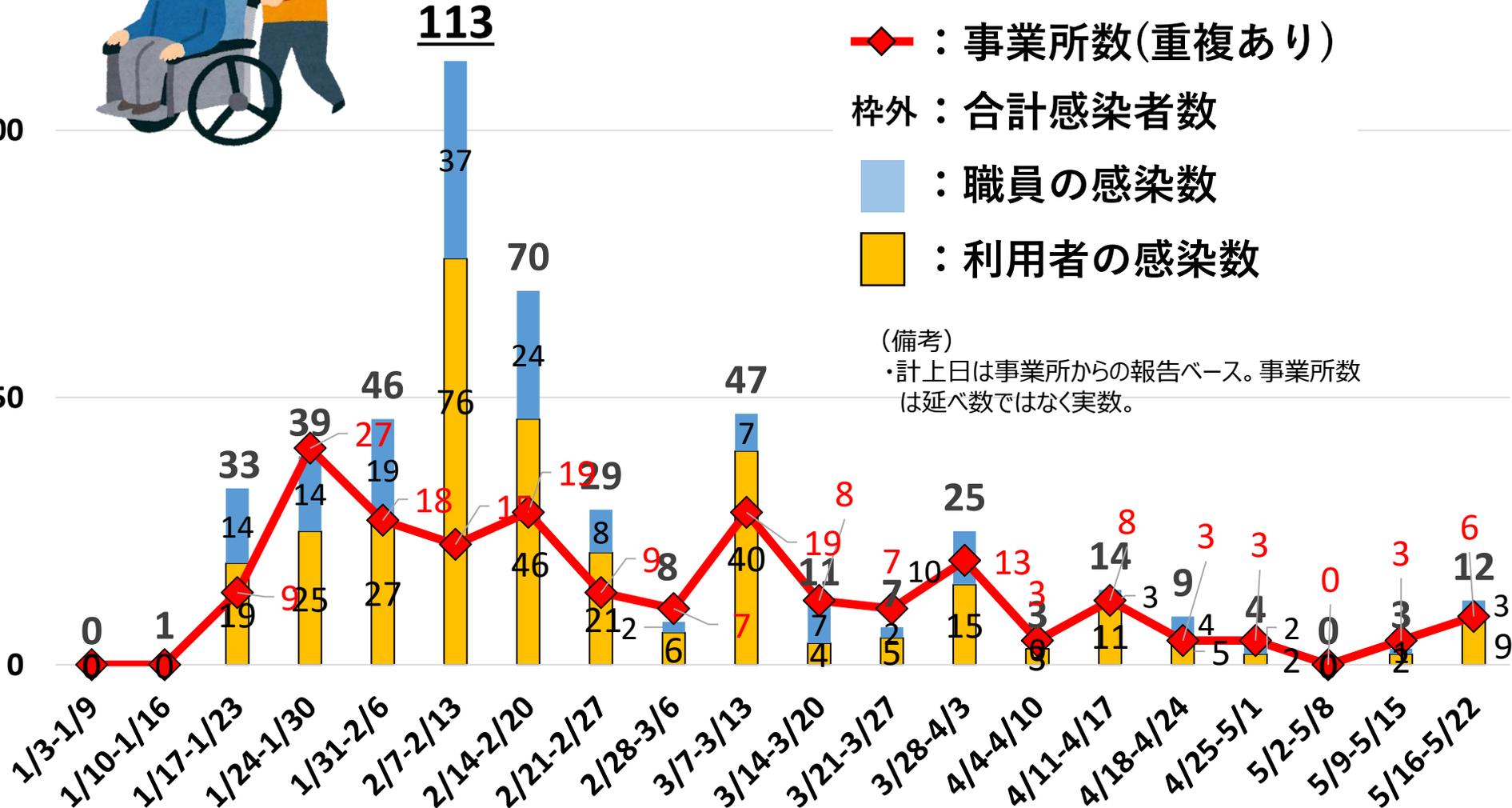
0

- ◆ : 事業所数(重複あり)
- 枠外 : 合計感染者数
- : 職員の感染数
- : 利用者の感染数

(備考)
・計上日は事業所からの報告ベース。事業所数は延べ数ではなく実数。

50

0



第6波における市内福祉施設でのクラスター発生状況

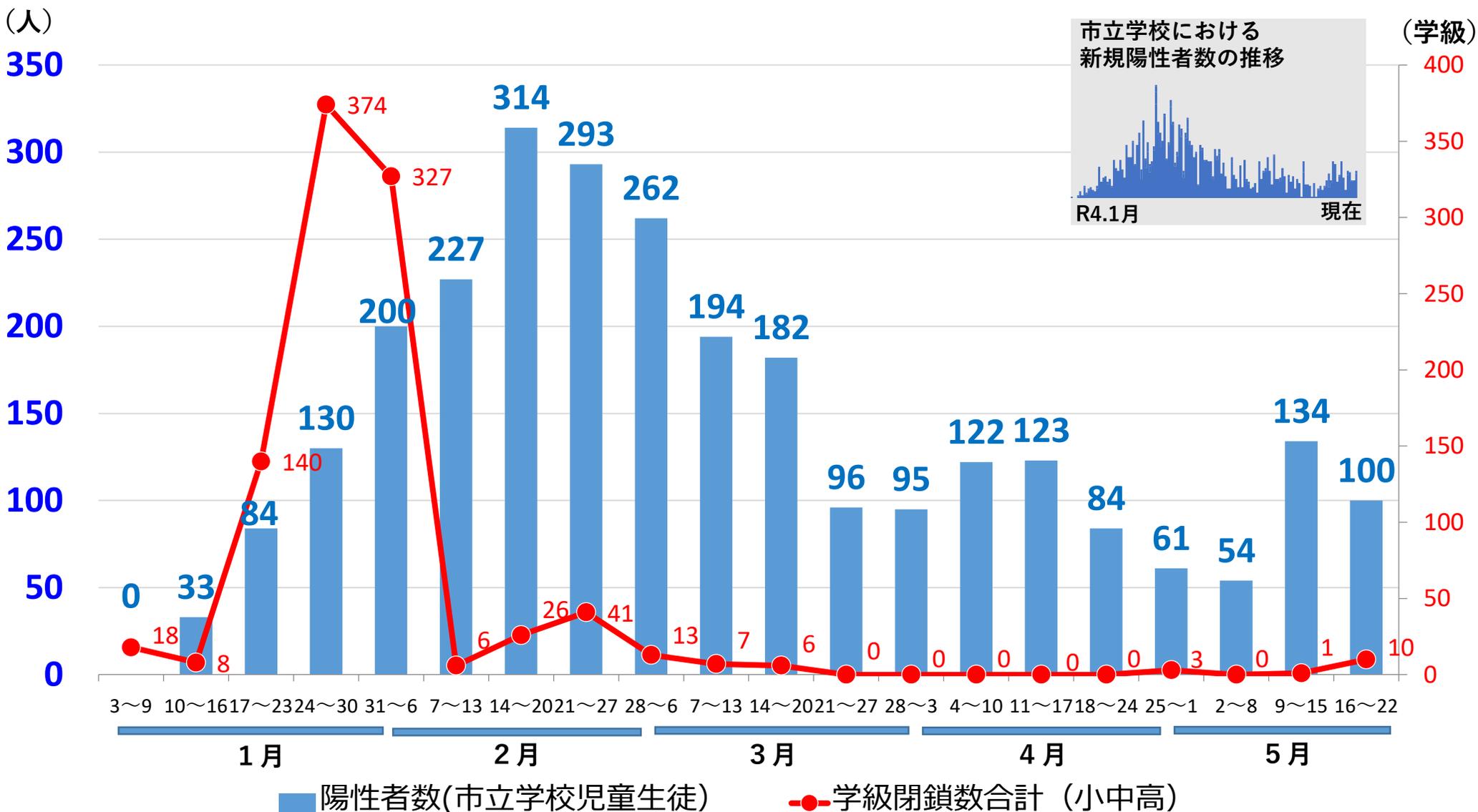
※福祉施設等において5名以上の感染者が短期間に発生した場合をクラスターとしています。

(5月16日～5月22日把握)

事例	発生場所	時期 (把握日)	陽性者数 (職員)	陽性者数 (利用者)	合計	調査結果
54	障害者施設	5月18日	1	5	6	経過観察中

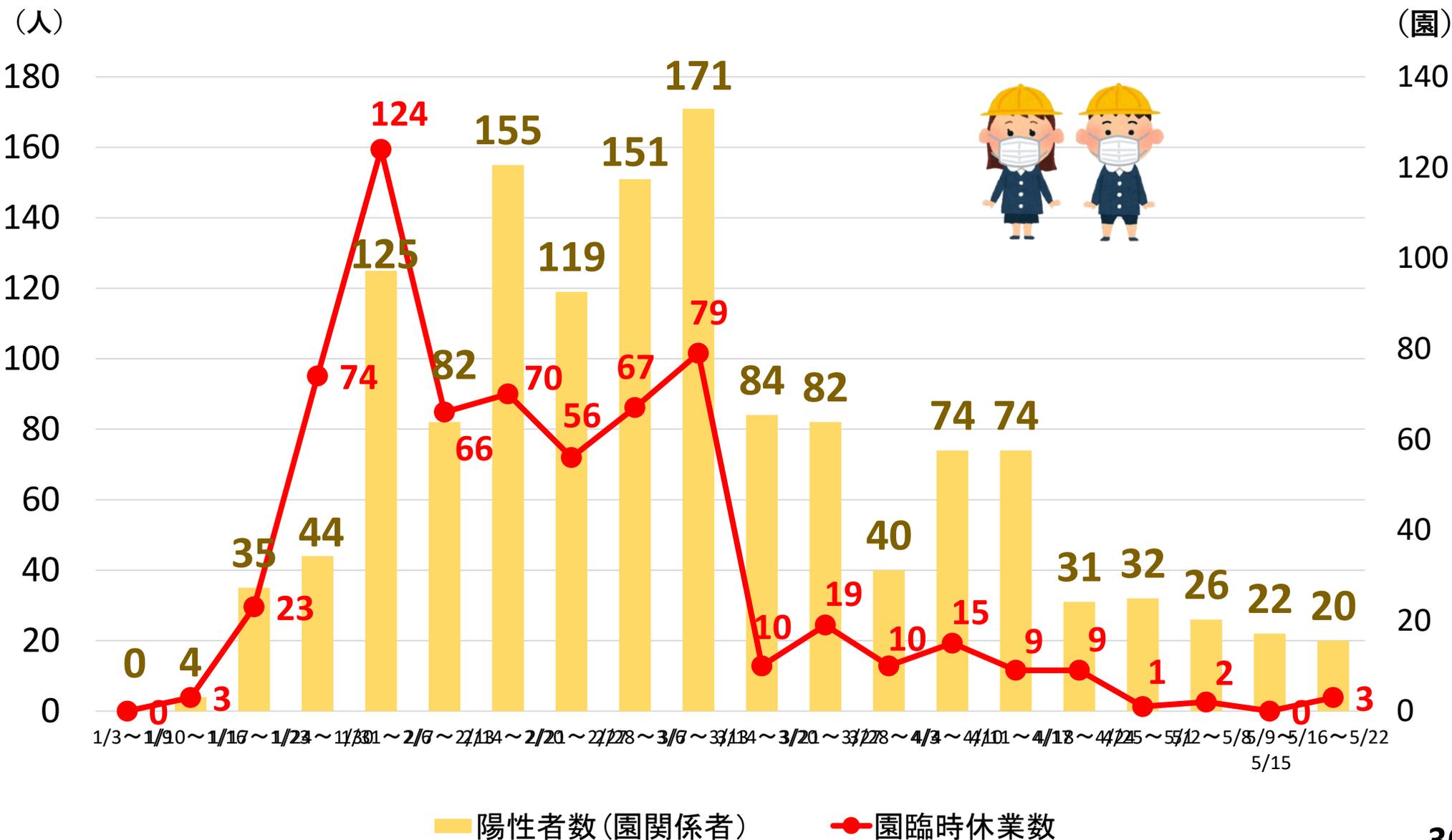
【R4. 1以降】市立学校の児童生徒における新規陽性者数の状況(週単位)

(R4.5.22現在)



公私立園における新規陽性者数と園臨時休業の状況(週単位)

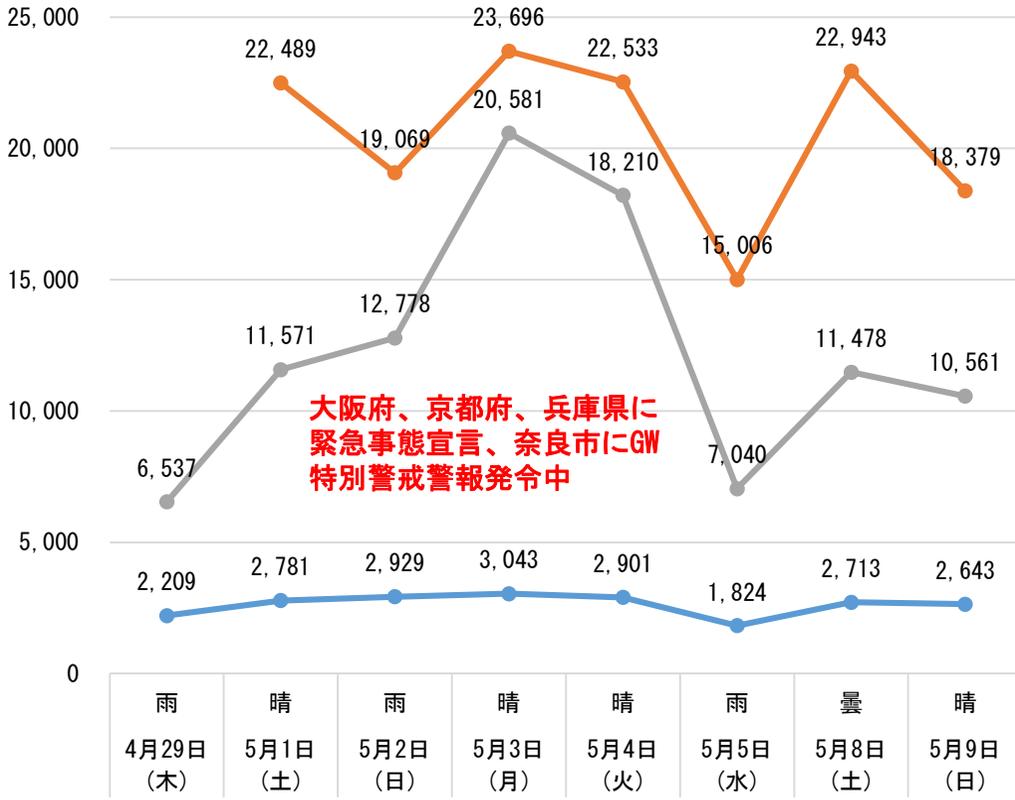
(R4.5.22現在)



GWにおける車両及び人の流れ



2021年



大阪府、京都府、兵庫県に緊急事態宣言、奈良市にGW特別警戒警報発令中

●市役所前東向き通過車両 ●主要駅人流計 (11箇所)
●奈良公園人流計 (36箇所)

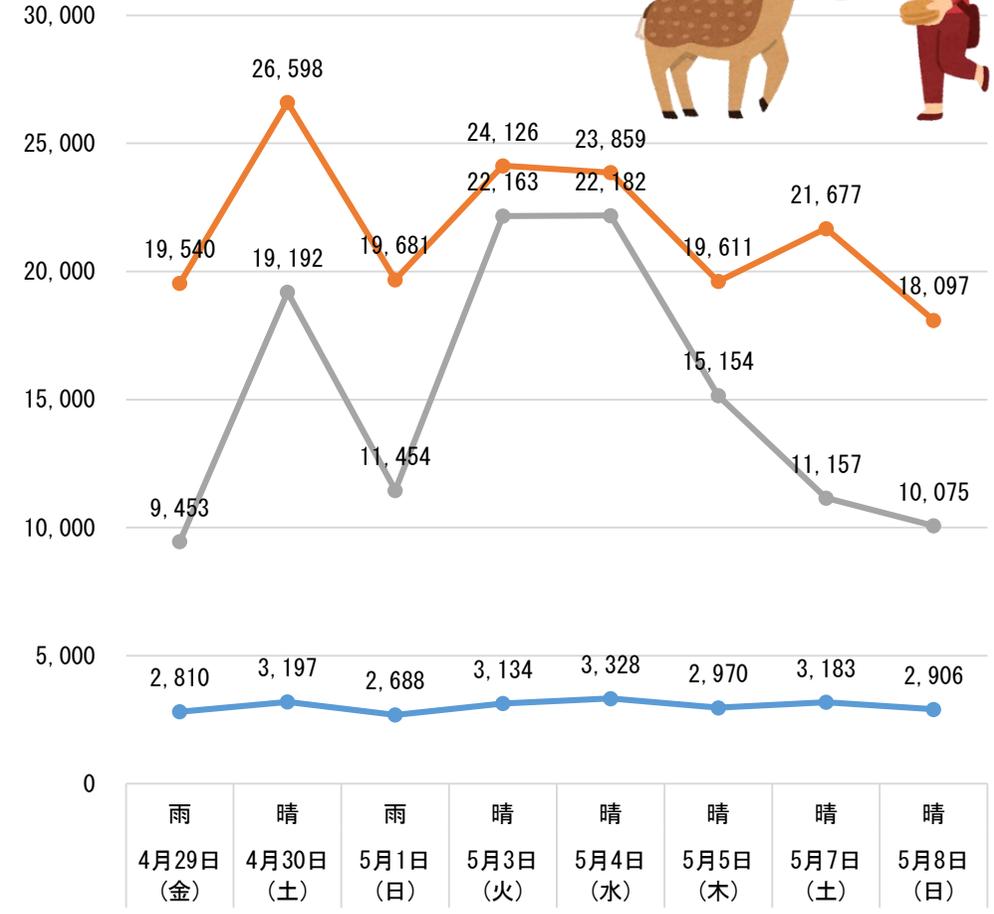
2021年 8日間 雨天3日 通過車両計 21,043台 主要駅人流計 144,115人 (初日含めず) 奈良公園人流計 98,756人
2022年 8日間 雨天2日 通過車両計 24,216台 主要駅人流計 153,649人 (初日含めず) 奈良公園人流計 120,830人

(15.1%増加)

(6.6%増加)

(22.4%増加)

2022年



●市役所前東向き通過車両 ●主要駅人流計 (11箇所)
●奈良公園人流計 (36箇所)

3回目接種についての接種券配付状況と接種率の関係(R4.5.23時点)

	人口 (R3.1.1現在) (A)	3回目接種券 発送人数 (R4.5.9時点) (B)	0回目(未接種)	1回目	2回目 (C)	3回目 (D)	人口の3回 目接種割合 (D/A×100)	3回目接種券 発送済人数の 接種割合 (D/B×100)
5-11	19,604	-	18,123	1,481	1,237	-	-	-
12-17	18,152	10,780	6,239	11,913	11,746	837	4.6%	7.8%
18-19	6,827	5,046	1,541	5,286	5,243	1,595	23.4%	31.6%
20-29	32,148	24,065	6,571	25,577	25,393	10,850	33.8%	45.1%
30-39	35,483	26,648	7,885	27,598	27,436	12,677	35.7%	47.6%
40-49	49,355	39,443	9,493	39,862	39,679	22,181	44.9%	56.2%
50-59	48,948	44,079	4,325	44,623	44,504	31,624	64.6%	71.7%
60-64	21,502	19,305	1,991	19,511	19,474	16,507	76.8%	85.5%
65-	110,951	104,879	3,723	107,228	107,003	98,815	89.1%	94.2%
合計(人)	342,970	274,245	59,891	283,079	281,715	195,086	56.9%	71.1%

※0回目(未接種)は 人口 - 1回目接種者数 で算出

	人口 (R3.1.1現在) (A)	3回目接種券 発送人数 (R4.5.9時点) (B)	2回目 (C)	3回目 (D)	2回目人口別接 種割合 (C/A×100)	3回目人口別 接種割合 (D/A×100)	3回目接種券 発送済人数の 接種割合 (D/B×100)
全人口	354,721	-	281,715	195,086	79.4%	55.0%	-
5歳以上	342,970	-	281,715	195,086	82.1%	56.9%	-
12歳以上	323,366	274,245	280,478	195,086	86.7%	60.3%	71.1%
18歳以上	305,214	263,465	268,732	194,249	88.0%	63.6%	73.7%